

入所者の地域移行について

枚方市における施設入所者の地域生活への移行について

障害福祉計画の策定にあたっては「国の基本指針」及び「大阪府の基本的な考え方」に基づき、福祉施設の入所者の地域生活への移行について成果目標を定めることとされており、枚方市障害福祉計画（第6期）においては、令和元年度末時点の施設入所者180人の地域生活への移行について、次の二つの目標を掲げ、令和5年度末までの達成を目指しているところです。

1.施設入所者の地域移行数：11人

2.施設入所者の削減：7人

前回の専門分科会においての説明では1.の地域移行数については移行後の生活状況等について具体的な状況が把握できないもので、2.の施設入所者の削減については、施設を退所し、地域生活へ移行した者のほか、入院や死亡などといった減員も含まれていました。

今回、施設入所者の地域移行について、入退所にかかる理由等、また、地域移行者の移行先等の詳細な状況を令和元年度から令和3年度まで報告するものです。

令和元年度の施設入所者の地域生活への移行状況について

地域生活移行	他障害者支援施設	他入所施設（高齢）	精神科病院	精神科病院以外の病院	死亡	その他	不明	退所者数合計	入所者	入所者削減数
4				3	7			14	8	6

令和元年度地域生活移行内訳

番号	本人の状態像				退所後の居住の場	退所後の日中活動の場	入所していた施設（自立訓練系/その他）	家庭復帰された際の同居者
	年齢区分	障害種別	支援区分	入所期間				
1	50～59	身体障害	5	2年以上 5年未満	家庭復帰（自宅）	不明	自立訓練系	配偶者・その他親族
2	18～29	身体障害	区分なし	1年以上 2年未満	家庭復帰（自宅）	不明	自立訓練系	単身
3	65～	身体障害	2	1年以上 2年未満	その他（民間住宅）	自立訓練（機能訓練）	その他の入所施設	
4	18～29	知的障害	3	1か月以上 3か月未満	複合型住宅	就労継続支援B型	自立訓練系	

※複合型住宅：福祉関係の集合住宅

※自立訓練系：日中活動の場として自立訓練（生活訓練、機能訓練）又は、就労移行支援等を利用、訓練目的での入所施設利用

令和元年度新規入所内訳

番号	本人の状態像			入所前の 居住の場	入所に至った理由		
	年齢 区分	障害 種別	支援 区分		本人の状態の変化	家族（支援者） 状況の変化	その他の内容
1	40～49	知的 障害	6	一般住宅 家族等と同居	介護度の上昇	高齢化、入院、 病気	
2	50～59	知的 障害	3	一般住宅 家族等と同居		高齢化、入院、 病気	
3	50～59	知的 障害	6	共同生活援助			遠方に住む親族が近くに呼び寄せたいと、 近隣施設への入所に至った。
4	18～29	知的 障害	5	一般住宅 家族等と同居		高齢化、入院、 病気	家族介護が困難なため。
5	18～29	知的 障害	3	障害児 入所施設			措置入所が終了するも、家族の治療が必要となり、 入所に至った。
6	18～29	身体 障害	6	一般住宅 家族等と同居	介護度の上昇		自立訓練系
7	40～49	知的 障害	5	共同生活援助	介護度の上昇・行動 障害等対応困難		
8	18～29	知的 障害	5	障害児 入所施設			本人の自傷行為等に対し服薬管理や自宅での療育が 困難と判断され、入所に至った。

令和２年度の施設入所者の地域生活への移行状況について

地域生活移行	他障害者支援施設	他入所施設（高齢）	精神科病院	精神科病院以外の病院	死亡	その他	不明	退所者数合計	入所者	入所者削減数
7		1		3	3	1		15	11	4

令和２年度地域生活移行内訳

番号	本人の状態像				退所後の居住の場	退所後の日中活動の場	入所していた施設（自立訓練系/その他）	家庭復帰された際の同居者
	年齢区分	障害種別	支援区分	入所期間				
1	30～39	知的障害	5	5年以上 10年未満	共同生活援助（新設）	生活介護	その他の入所施設	
2	30～39	身体障害	3	1年以上 2年未満	家庭復帰（自宅）	不明	自立訓練系	親
3	18～29	知的障害	4	2年以上 5年未満	共同生活援助（既存）	就労継続支援B型	自立訓練系	
4	18～29	知的障害	2	2年以上 5年未満	共同生活援助（既存）	学校（能力開発校等含む）	自立訓練系	
5	40～49	知的障害	6	10年以上 20年未満	共同生活援助（既存）	生活介護	その他の入所施設	
6	40～49	精神障害	3	1か月以上 3か月未満	家庭復帰（自宅）	その他	自立訓練系	親・兄弟
7	30～39	身体障害	4	1か月以上 3か月未満	家庭復帰（自宅）	その他	自立訓練系	親・配偶者・その他親族

令和 2 年度新規入所内訳

番号	本人の状態像			入所前の 居住の場	入所に至った理由		
	年齢 区分	障害 種別	支援 区分		本人の状態の 変化	家族（支援者） 状況の変化	その他の内容
1	60～64	知的 障害	6	一般住宅 家族等と同居	介護度の上昇	高齢化、入院、 病気	
2	50～59	知的 障害	6	共同生活援助	介護度の上昇		
3	40～49	精神 障害	3	一般住宅 家族等と同居			アルコール依存症加療のため入院をし、退院先としてリハビリ系の施設へ入所。
4	50～59	精神 障害	3	一般住宅 単身			本人の状態変化。
5	18～29	知的 障害	6	障害児 入所施設			18歳到達後も入所先がなく措置延長。成人施設への移行のために入所となる。
6	40～49	身体 障害	6	病院			病院からの退院後は在宅生活が難しく、家族の支援が困難なため入所となる。
7	30～39	身体 障害	5	病院			バイク事故により頸髄損傷、脳挫傷等を負う。リハビリ入院の後、施設入所。
8	40～49	身体 障害	6	一般住宅 家族等と同居		高齢化、入院、 病気	
9	60～64	知的 障害	6	病院			GHより入院し、食事の経口摂取が困難となり医療的ケアが必要でGHに戻れなくなったため。
10	50～59	身体 障害	6	施設入所支援			胃ろう増設に伴い以前の施設では対応が出来なくなったため。
11	30～39	身体 障害	4	一般住宅 家族等と同居			自立訓練系

令和3年度の施設入所者の地域生活への移行状況について

地域生活移行	他障害者支援施設	他入所施設（高齢）	精神科病院	精神科病院以外の病院	死亡	その他	不明	退所者数合計	入所者	入所者削減数
3				1	4	1		9	9	0

令和3年度地域生活移行内訳

番号	本人の状態像				退所後の居住の場	退所後の日中活動の場	入所していた施設（自立訓練系/その他）	家庭復帰された際の同居者
	年齢区分	障害種別	支援区分	入所期間				
1	30～39	知的障害	4	2年以上5年未満	共同生活援助（既存）	生活介護	自立訓練系	
2	30～39	身体障害	5	1年以上2年未満	家庭復帰（自宅）	日中活動未定	自立訓練系	配偶者・その他親族
3	18～29	身体障害	5	2年以上5年未満	その他（公営住宅）	一般就労	自立訓練系	

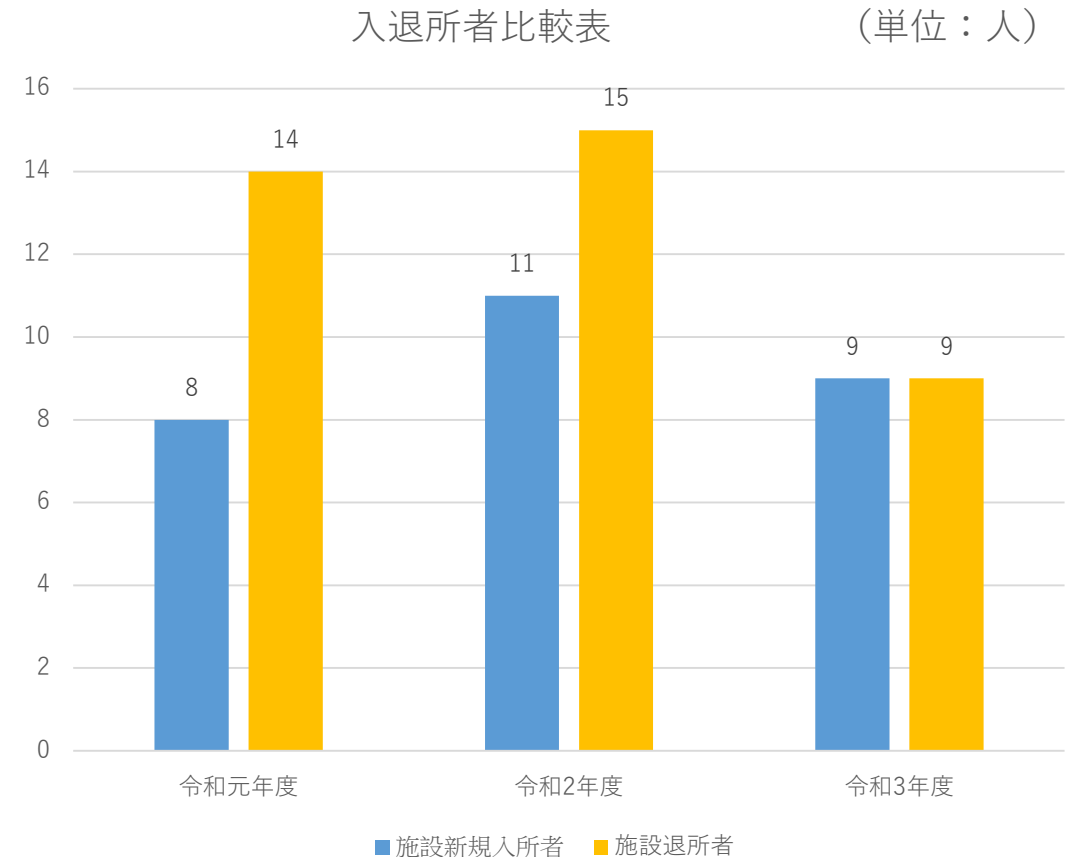
令和3年度新規入所内訳

番号	本人の状態像			入所前の 居住の場	入所に至った理由		
	年齢 区分	障害 種別	支援 区分		本人の状態の 変化	家族（支援者） 状況の変化	その他の内容
1	65～	身体 障害	3	共同生活 援助	介護度の 上昇		腰痛多発圧迫骨折により医療機関入院。入院後ADLが低下。 足の痛みから、歩行器使用が必要でGHに戻るのは難しくなった。
2	65～	知的 障害	4	一般住宅 単身			家族で2人暮らしであったが、家族が亡くなり単身世帯となり、 居宅生活に困難があり入所に至る。
3	30～39	知的 障害	5	一般住宅 家族等と 同居		高齢化、入院、 病気	
4	18～29	知的 障害	6	障害児 入所施設			養護学校の併設施設に契約入所。18歳到達のため施設入所。
5	30～39	身体 障害	6	病院			本人の状態像から、施設入所支援が必要であったが、空待ちの ため、病院にて生活していた。
6	18～29	知的 障害	3	一般住宅 家族等と 同居	行動障害等 対応困難		
7	50～59	身体 障害	4	病院			病気の治療のために入院していたが、退院後に母親のみで介護を 行うことは難しいため入所での訓練を行う。
8	30～39	身体 障害	4	病院			交通事故による脳挫傷で入院していたが、自宅に戻る前に身辺 自立に向けての訓練を行うため入所となる。
9	30～39	精神 障害	3	一般住宅 単身			脳出血となり、後遺症として高次脳機能障害、右上下肢麻痺、 および失語症が残存し、日常生活に戻る機能訓練の為に入所。

入所者の削減数について

入所者の削減数の推移については、この3年間で令和2年度がやや入所、退所共に多くなっていますが、全体の施設入所者数は微減傾向にあります。

	施設新規入所者	施設退所者	入所者削減数
令和元年度	8	14	6
令和2年度	11	15	4
令和3年度	9	9	0



地域移行者実績の傾向について

退所者数における地域移行者数の占める割合については、この3年間では、令和2年度がやや大きな値を示しています。

	地域移行者	その他退所者	施設退所者 (合計)
令和元年度	4	10	14
令和2年度	7	8	15
令和3年度	3	6	9

